

# 東北ブナ紀行（82）

奥田 博

蔵王連峰の中間部に位置する名号峰、その存在を知る人は少ない。さらに栗駒山の3km南にそびえる大地森はさらに認知度は低い。二つの無名峰にもブナ林が広がっている。

## 129) 名号峰 1490m

名号峰は中央蔵王のど真ん中、盟主熊野岳の東にある小山といった印象名号峰。コースは峩々温泉（青根温泉）から、熊野岳から、南雁戸山からと3方向が考えられるが、ブナに出会えるのは峩々温泉からが手っ取り早い。

登山口の峩々温泉から歩き出すが、いきなり急坂が始まる。主尾根にたどり着くまでは急坂に耐える。主尾根からは穏やかな登りとなり、ブナが点在はじめる。時折、見事なブナも現れ楽しみながら登る。ブナ林は、突然途切れてダケカンバ林に変る。これはこれで素晴らしい森をなしている。森は次第に灌木に代わり、久し振りに歩くと藪が多くなったように感じる。そんなに歩かれていないのかも知れないので、春か秋がお薦めか。やがて展望の名号峰へと到着する。

コースタイム：峩々温泉（1時間）主尾根（2時間20分）名号峰山頂（2時間30分）峩々温泉



## 130) 大地森 1155m

大地森は栗駒山の南山麓、大湿原の世界谷地から眺めると、栗駒山の前衛峰として存在感がある。山頂に登る登山道はなく、中腹を巻く登山道付近から多種多様なブナの姿を眺めることになる。

40年以上前の昔話。耕英地区から真冬に深いラッセルで大地森を目指した。参加者は関東・宮城・福島から20人ほどだった。しかし長い世界谷地周辺の平らなラッセルは、大人数でも登りきることが出来なかった厳しい山だった。

世界谷地への入口から歩き出す。穏やかな道が続くが、奥の第一世界谷地の入口を越えると、道はアップダウンを繰り返すようになる。



この辺にも太いブナや奇形ブナが現れるが、総じて散発的だ。本格的なブナ林は、湯浜温泉への分岐（テーブルとベンチ有）から大地森の山懐に取付いてからだ。山を回り込む個所は見事なブナ林が続くが、お気に入りブナに出会ったタイミングで戻った。

コースタイム：登山口（1時間）湯浜分岐（2時間）最高到達点（2時間）登山口

